

令和5年12月15日
松山河川国道事務所

まつやまとかんじょう ようごみなみ ひがしはぶ
『国道56号 松山外環状道路空港線余戸南IC～東垣生IC間』

令和6年2月24日(土)に開通します!!



※開通式典・開通時刻等の詳細な内容については、後日お知らせします。

====開通により期待される効果====

- 整備効果①：周辺道路の混雑緩和や所要時間短縮・定時性向上
- 整備効果②：臨海部や周辺地域の産業活性化
- 整備効果③：アフターコロナの観光産業活性化
- 整備効果④：通学路の安全性向上や幹線道路の交通事故減少

※本施策は、四国圏広域地方計画[No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト]の取組に該当します。

(発表先) 愛媛番町記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長(道路) 矢野 裕紀(やの ひろき)

tel: 089-972-0034(代表)

◎工務第二課長 澤田 英典(さわだ ひでのり)

tel: 089-972-0259(課直通)

◎主な問い合わせ先

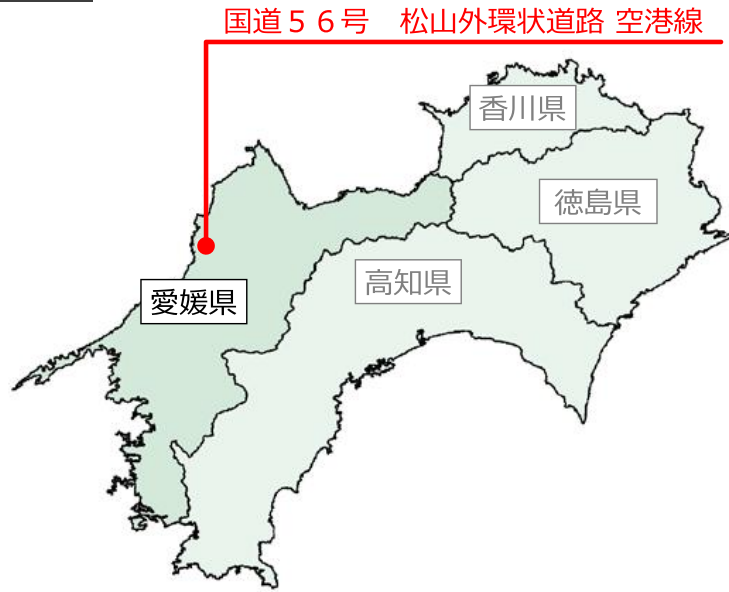
国道56号 松山外環状道路空港線 事業概要



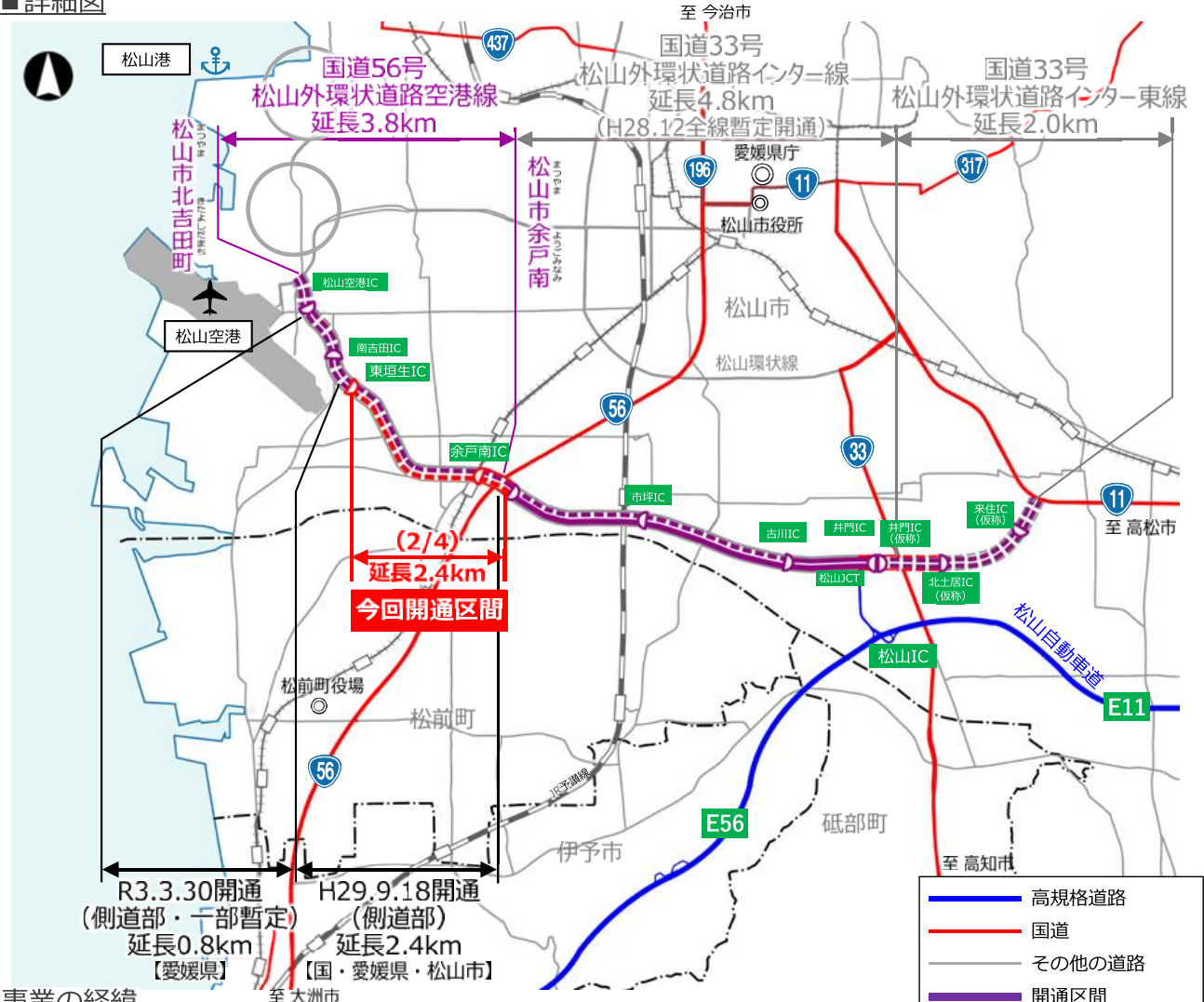
○国道56号 松山外環状道路空港線は、愛媛県松山市都市圏内の交通混雑の緩和及び交通安全確保を図るとともに、松山自動車道松山ICと松山空港等とのアクセス向上を目的とする道路です。

○この内、令和6年2月に余戸南IC～東垣生ICの2.4km（自動車専用道路）が開通します。

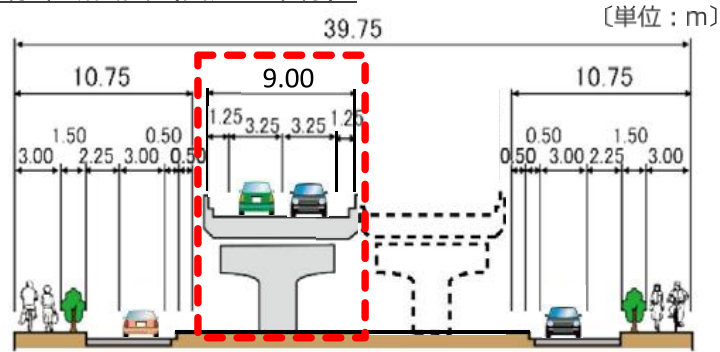
■位置図



■詳細図



■標準断面図（暫定2車線）



■事業概要

構造規格	第2種第2級（自動車専用道路）
設計速度	60km/h
標準幅員	18.25m（完成4車線） 9.00m（暫定2車線）

■主な事業の経緯

平成21年3月	事業化
平成29年9月	側道部2.4km開通
令和3年3月	側道部0.8km開通（一部暫定）

- 高規格道路
- 国道
- その他の道路
- 開通区間
- - - 未開通区間
- - - 開通予定区間
- ○ ○ 調査中区間

■ 周辺道路の混雑緩和や所要時間短縮・定時性向上に期待



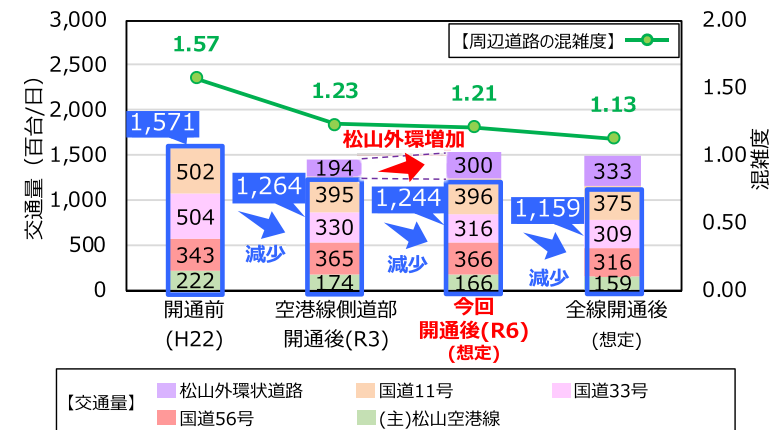
- これまでの開通により、周辺道路（国道11・33・56号、(主)松山空港線）から松山外環状道路に交通が転換することで、周辺道路の混雑が緩和するとともに県内から松山空港や松山港へのアクセス性や定時性が大幅に向上しています。
- 令和6年2月の開通により、更なる**松山中心部に向かう周辺道路の混雑緩和**や**所要時間の短縮・定時性の向上**が期待されます。

＜松山市内の混雑状況＞



＜整備による周辺道路の変化＞

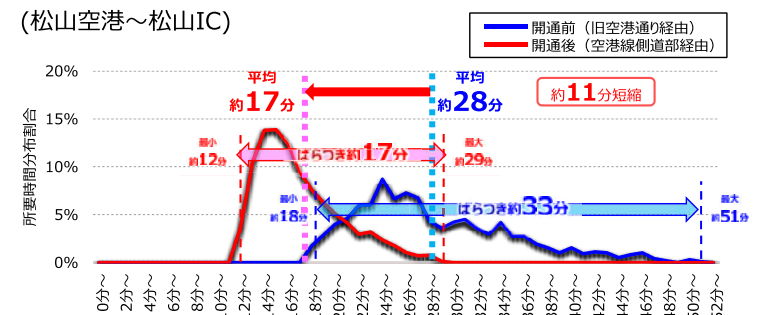
松山外環状道路に交通が転換、周辺道路の混雑が緩和



資料) 開通前 : H22全国道路・街路交通情勢調査
 側道部開通後(R3) : R3全国道路・街路交通情勢調査
 今回開通後(R6) : H27ベースR22将来交通量推計結果(R6開通時)
 全線開通後 : H27ベースR22将来交通量推計結果(全線開通時)
 ※混雑度(開通前: H22全国道路・街路交通情勢調査の交通容量を基に算出、
 空港線側道部開通後以降: R3全国道路・街路交通情勢調査の交通容量を基に算出)

＜所要時間の変化 (これまでの開通による効果)＞

所要時間のばらつきが縮小・定時性が向上

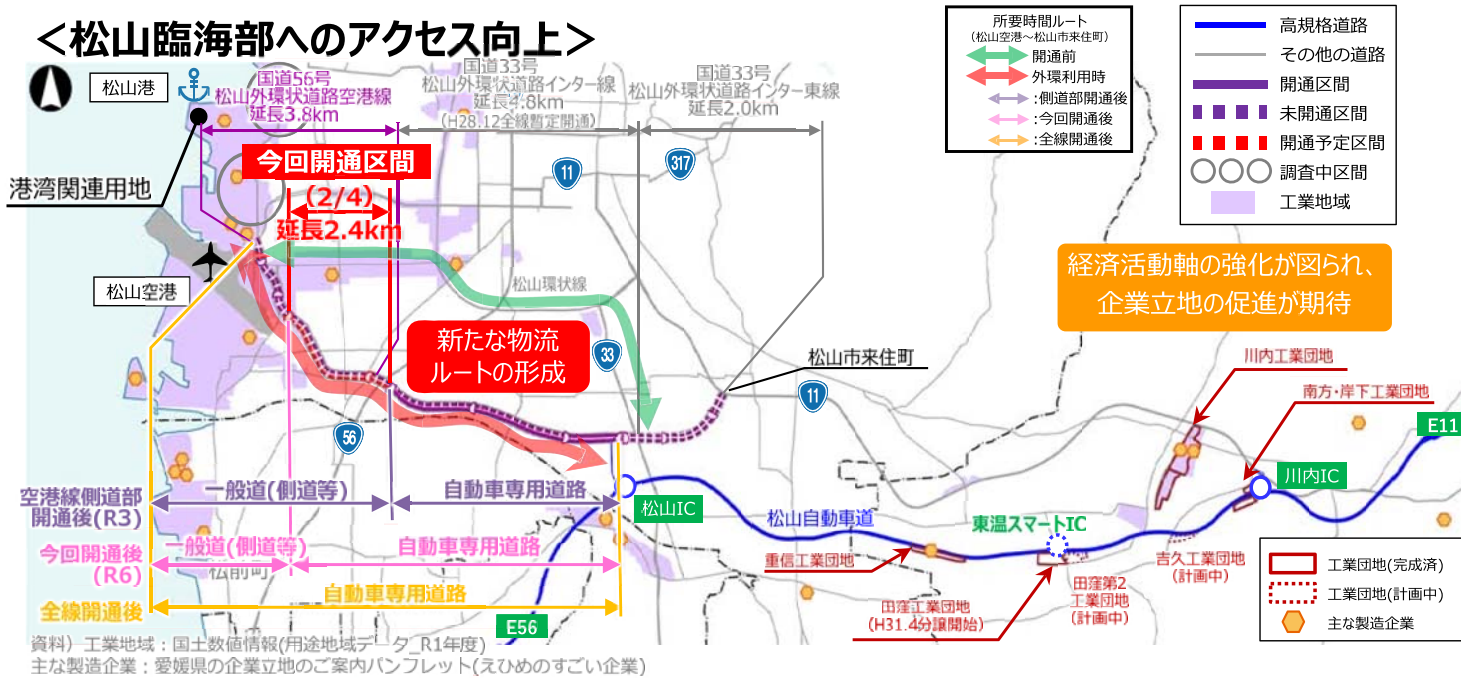


資料) ETC2.0プローブデータ【平日】7時～19時
 開通前: H28.9～11 開通後(空港線側道部開通後): R3.9～11

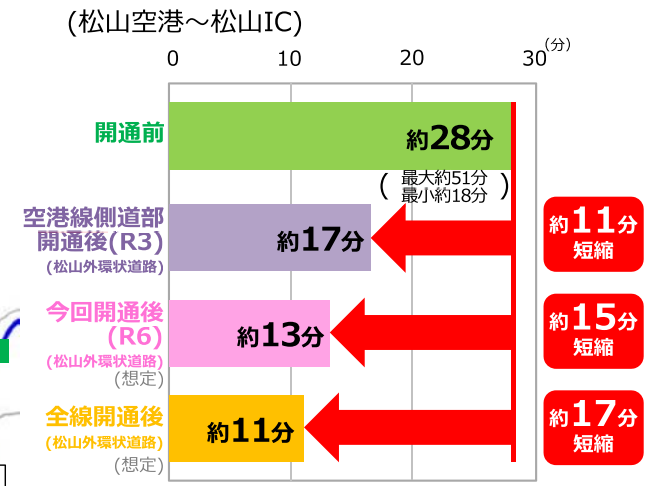
臨海部や周辺地域の産業活性化に期待

- これまでの開通により、工業地域や松山港、松山空港等が集積している松山臨海部～松山IC間の新たな物流ルートが形成され、松山臨海部の港湾関連用地において新たな企業が進出しています。
- 令和6年2月の開通により、**松山空港～松山IC間の所要時間の短縮**が期待されます。
- 今後、松山外環状道路や東温スマートICの整備により、経済活動軸の強化が図られ、臨海部や周辺地域の**企業立地の促進・産業活性化**が期待されます。

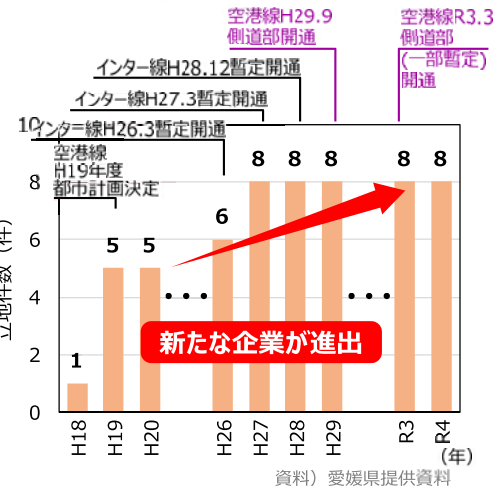
<松山臨海部へのアクセス向上>



<所要時間変化(今後の整備による効果)>



<港湾関連用地の立地状況>



<全線開通を期待する声>

【港湾関連用地の進出企業の声】

- ・松山外環状道路空港線が開通されることで、岡山や高松方面等からの**食材入荷時刻が早くなり工場内での作業効率化が図れること等を見込んで立地しました。**
- ・今後、全線開通により、松山ICを経由した関西方面等への商品の**配送時間が短縮されることで、さらに作業効率化が図れる**と思います。

資料) R4.8 ヒアリング調査結果

【東温市役所の声】

- ・松山外環状道路の延伸と東温スマートICの整備により、松山臨海部等への**アクセスが向上**することで、計画中の「田窪第2工業団地」や「吉久工業団地」への**企業立地の促進が期待**されます。

資料) R4.8 ヒアリング調査結果

■ アフターコロナの観光産業活性化に期待

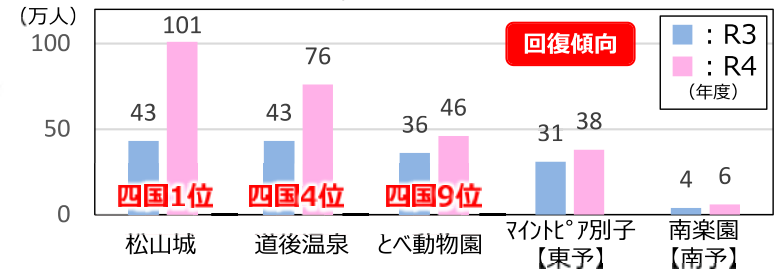


- 新型コロナウイルスによる行動制限緩和や全国旅行支援により、松山空港の乗降客数は堅調に回復しており、県内主要観光地の入り込み客も回復傾向にあります。
- 令和6年2月の開通による市内の混雑緩和や松山ICへのアクセス向上により、**市周辺主要観光地間の周遊性及び東予・南予エリア主要観光地へのアクセスが向上**します。
- 松山港ではクルーズ船の寄港数がコロナ前の水準まで回復し、また、松山空港では国際定期便の増便や新規就航がなされるなど、更なる**アフターコロナにおける県内観光産業活性化**が期待されます。

＜松山市周辺の主要観光地＞

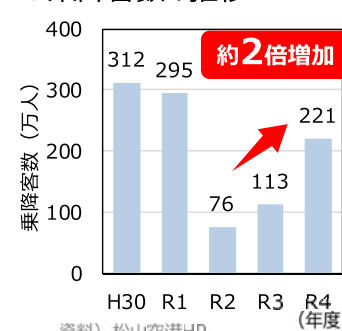


＜主要観光地入り込み客数＞



＜松山空港＞

▼乗降客数の推移

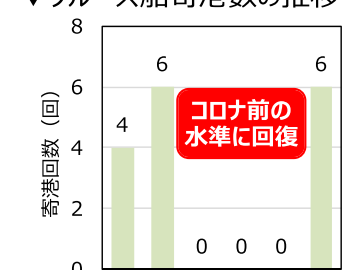


▼国際線運航状況



＜松山港＞

▼クルーズ船寄港数の推移



▼「MSCベリッシマ」寄港 (R5.5.27)



【愛媛県庁の声】

- ・今回の開通により、松山空港から松山市中心部への交通混雑が緩和することで松山城や道後温泉など四国有数の主要観光地間の周遊性向上が期待されます。
- ・また、松山ICへのアクセス向上により南予や東予エリアに点在する主要観光地への観光客の増加が期待されます。



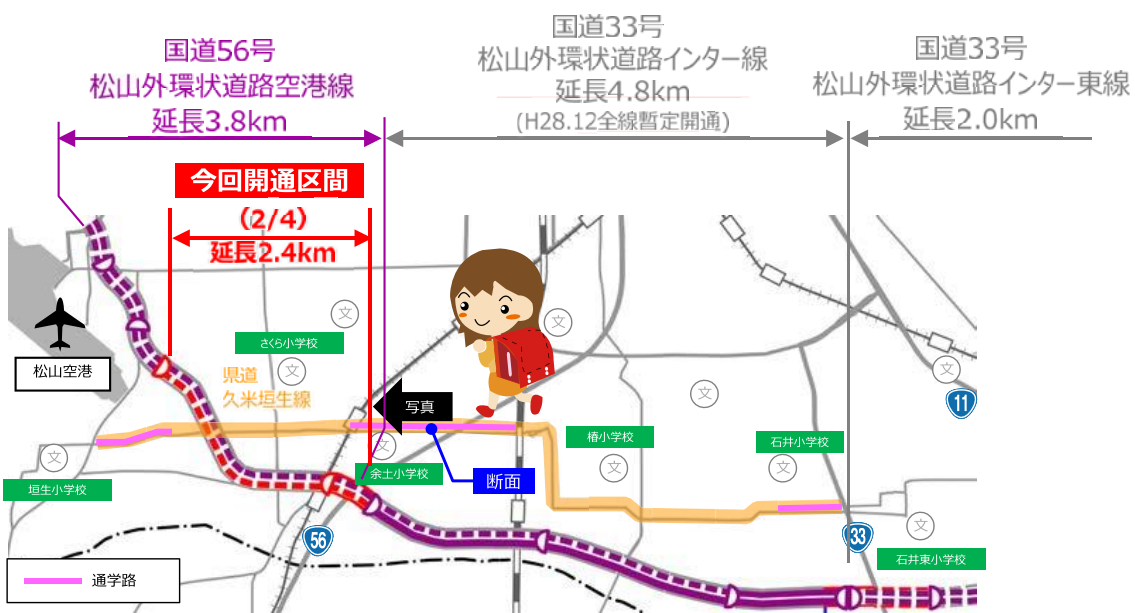
資料) R5.9 ヒアリング調査結果

通学路の安全性向上や幹線道路の交通事故減少に期待



- ^{くめほぶ}県道久米垣生線沿線には多くの小学校が点在し通学路に指定されているものの、道路幅の狭い区間や歩道未整備区間が存在するなど交通安全上の課題が多い路線です。
- これまでの開通により、通学路（県道久米垣生線）を抜け道として利用する車両が減少したことで通学路の安全性が向上しています。
- 令和6年2月の開通により、更なる交通の転換が図られることで、**通学路の安全性向上や幹線道路の死傷事故件数の減少**が期待されます。

＜県道久米垣生線：通学路の交通状況の変化＞

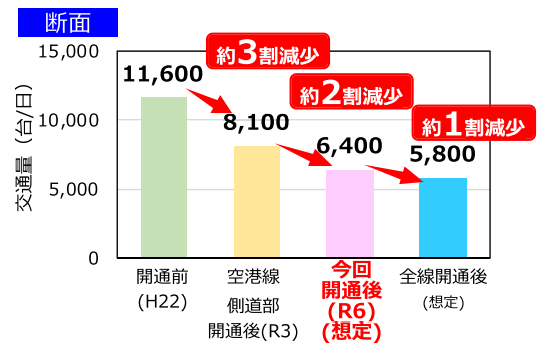


▼県道久米垣生線の状況



これまでの開通により抜け道交通は減少したものの依然として交通量が多いため更なる交通の転換が必要

▼県道久米垣生線 交通量の変化

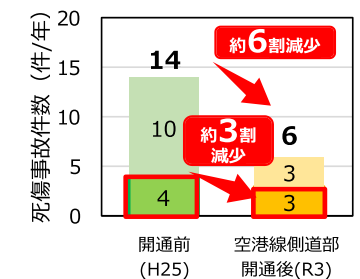


資料) 交通量 (開通前: H22全国道路・街路交通情勢調査、側道部開通後: R3全国道路・街路交通情勢調査、今回開通後(R6): H27ベースR22将来交通量推計結果(R6開通時)、全線開通後: H27ベースR22将来交通量推計結果(全線開通時))

資料) 死傷事故件数 (人身事故*) : 交通事故分析センターデータ (開通前: H25.4~12、側道部開通後: R3.4~12)

※人身事故: 自転車相互、自転車対歩行者、自転車の単独事故を除く

▼県道久米垣生線 死傷事故件数(人身事故)の変化



＜グラフの凡例＞

- 人身事故のうち、人・自転車 対 自動車 (二輪を含む) の事故件数

＜全線開通を期待する声＞

【小学校関係者の声】

- ・松山外環状道路空港線・側道部の開通により、**通学路を通り抜けする大型車の交通量が減少した**と感じています。また、**通学時の大きな事故等は起きていません**。
- ・今後、松山外環状道路の整備が進むことで通過交通がさらに減少し、**通学路の安全性がさらに向上すること**に期待しています。



資料) R4.8 ヒアリング調査結果